

令和5年度 第2回久御山町上下水道事業経営審議会 議事要旨

日時	令和5年8月9日(水) 10:00~11:50
場所	久御山町議会棟4階 特別会議室
次第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 水道事業ビジョン(第2次)について ア 将来の事業環境 イ これからの水道事業 ウ 具体的施策 エ 投資・財政計画(収支計画) オ ビジョンの実現に向けて (2) 今後のスケジュールについて 4 閉会
出席者	(委員) 西垣会長、伊藤副会長、松若委員、曾和委員、水野委員、寺井委員、大日方委員 欠席：久保田委員 (事務局) 高山事業環境部長、吉田上下水道課長、内田課長補佐、三上課長補佐、岩上係長、オリジナル設計(株)3名

会議

1 開会

- ※ 会議成立の報告
- ※ 関係人の出席の確認
- ※ 配布資料の確認

2 会長挨拶

- ・今年の夏は暑い日が続いているが、経済との関係で言えば夏はできるだけ暑く、そして冬はできるだけ寒い方が、様々な需要が大きくなる。
- ・水道との関係では、やはり暑い日が続くと打ち水や庭木の水やりなどで需要が大きくなる。
- ・最近では、インフレは心配ではあるが経済は上向き加減であり、コロナの収束とともに軌道に乗れば、水道事業の方も少し先が明るくなるのではないかと期待している。

3 議事

(1) 水道事業ビジョン(第2次)について

- ア 将来の事業環境
- イ これからの水道事業

- ウ 具体的施策
- エ 投資・財政計画（収支計画）
- オ ビジョンの実現に向けて
 - －事務局説明－

副会長

- ・令和7年度の料金改定16.9%について、あくまでも方向性を本審議会で確認したいということであり、本審議会で料金改定を決定するわけではないという認識で良いか。

事務局

- ・審議会に対し、水道事業ビジョン及び経営戦略の改定について諮問させていただき、審議いただいているが、最終的には令和7年度の料金改定を見込んだ収支計画も含め、水道事業ビジョン（第2次）（案）という形で答申いただきたいと考えている。
- ・答申を受けた上で町として判断をし、令和5年度末までに水道事業ビジョン（第2次）を策定することとなる。
- ・令和6年度には、策定したビジョンを踏まえ、料金改定の内容について審議いただきたいと考えている。

副会長

- ・本審議会が答申するビジョン（案）が既定路線ということではなく、その後の丁寧なコミュニケーションが必須だと思うので、よろしくお願ひしたい。
- ・答申を住民説明会等での説得材料に使うことは避けていただきたい。
- ・住民説明会は、料金値上げに関する説明ということではなく、住民と交流する会という位置づけで、丁寧なコミュニケーションを図るべきである。

事務局

- ・令和5年11月頃にビジョン案についてパブリックコメントを実施し、そこで使用者の意見を吸い上げていきたいと考えている。
- ・住民説明会については、来年度開催したいと考えているが、指摘のとおり使用者と丁寧なコミュニケーションを図り、まずは水道事業についてご理解いただくということが大事だと考えている。

副会長

- ・資料2の83ページ、「16.9%の改定を実施するものとして設定しました」とあるが、「設定しました」が言葉としてきついので表現を工夫してほしい。

事務局

- ・検討する。

会長

- ・住民説明会においては、本町の水道事業の持続的な経営についてまずは理解いただき、その上で料金改定の説明をしていただきたい。
- ・料金改定率16.9%の根拠はシミュレーションであり、やはり本審議会で議論したということになる。
- ・料金改定とそれによる更新投資の継続ということが大事になるので、今後も住民理解に努めていただきたい。

委員

- ・議論、説明において、やはり漠然とではなく数字があった方が住民としてもわかりやすい。
- ・企業債残高が増加傾向となっているが、企業債残高対給水収益比率の妥当な値はあるのか。

事務局

- ・妥当な値という明確な基準はないが、過度に高くなりすぎると将来に負担を回しすぎているということになる。
- ・水道事業の経営は非常に厳しい現状であるため、更新投資とのバランスを踏まえると、現時点では一定企業債に頼らなければならないシミュレーション結果となった。
- ・企業債のあり方については、今後、物価上昇や京都府営水道の料金改定などの変動要因等の状況を注視しながら、本審議会で審議いただき、5年程度ごとには見直していきたいと考えている。

委員

- ・住民のことを良く考えていただいております、住民説明会など住民理解に尽力いただいているが、町内企業の理解の方は得られるのか。

事務局

- ・町内企業に対しても、料金改定の必要性や基本理念で掲げているみんなで水道事業を支えるということを理解いただけるよう説明していきたい。
- ・今回示した料金改定では、必要な資金を確保できていない部分もあるが、大きな料金改定とならないよう抑制しつつ、適正な料金水準を検討し続けていきたい。

会長

- ・本ビジョンにおいて企業債発行のルールを定めており、施設整備以外には発行しないこととしているため、更新投資が一巡した段階では企業債残高は収束していくこととなる。
- ・また、企業債残高は、水道事業が保有する実物資産の上限を超えることはない。
- ・企業債残高は、どのくらいまで上昇するのか。

事務局

- ・長期のシミュレーションでは、40億程度まで増加する試算となっている。
- ・何十年か後には、毎年度、企業債の借入額と償還額が均衡することになり、資金確保の機能はなくなることになる。
- ・長期的な企業債と料金収入とのバランスについては、今後も検討を続ける必要があると考えている。

会長

- ・住民説明会においても、企業債については質問が出ると思われるので、どういう形で収束するのか、また、比率が一定以上に上がらないような努力をどのようにするかなど、説明できるように考えておく必要がある。

委員

- ・辛うじて黒字となる料金改定であり、財政上十分な改定とは言い難い。
- ・外部環境を注視しながら、計画を常に見直していく必要がある。

事務局

- ・収支計画において、料金改定の条件を經常収支均衡としたため、料金算定期間の最終年度は辛うじて黒字になるという結果になる。
- ・資金を十分に確保する場合、料金算定要領に基づき資産維持費や長期前受金戻入分を加算する必要があるが、その場合はかなり大きな料金改定になるため、5年ごとに見直しを行う中で、理解いただきながら徐々に確保していきたいと考えている。
- ・物価上昇や京都府営水道の料金改定などの外部要因等に注視しながら、本審議会で審議いただきながら検討を続けていきたい。

会長

- ・インフレヘッジの検討や企業債の長期金利の見通しも注視する必要がある。

委員

- ・長期シミュレーションの結果も示した方が良いと考える。
- ・資料2の74ページ、ダウンサイジングの検討について、北浦配水場を廃止した場合により高い費用削減効果が認められたという結論だけ記載しているが、自己水廃止についても長期的には検討する必要があるという審議結果であったので、その旨も記載した方が良い。

事務局

- ・長期シミュレーションにおいて、現在の条件で収支を保つためには、5年ごとの料金改定を見込む必要があるが、その審議はしていないため、掲載は控えたいと考えている。
- ・ただ、先ほどあったとおり企業債残高が長期的にどうなるかなどについて、住民への説明が必要となる場面もあるので、提示の仕方を検討したいと考えている。
- ・自己水廃止の検討については記載方法を検討したい。

委員

- ・計画では、管路の更新投資が毎年3.5億円となるが、水道料金として負担しなければならないものなのか。

事務局

- ・水道事業は公営企業であり、独立採算性、受益者負担が原則とされているため、管路の更新投資も含め費用は水道料金として負担していただく必要がある。
- ・そういった水道事業の仕組みも含めて使用者には理解いただきながら事業を継続していかなければならないと感じており、丁寧なコミュニケーションを図っていかなければならないと考えている。

会長

- ・施設整備も含めて料金負担となるため、できる限り施設の延命化等で負担を抑制する努力をしていくしかない。

副会長

- ・こうした資料では、料金値上げが続いていくことが示されてしまうが、一方で、使用者が値上げにどこまで耐えられるのか、負担可能な範囲がどこまでかという問題がある。
- ・アメリカなどの例で言えば、家計所得の1.5%程度が上下水道料金合せての負担可能範囲と認識されており、これを超える場合は別の形態を考えなければならぬとされ

る。

- ・日本においても、どこまで負担感を感じるのかということは一つの課題であり、課題にしなければならないと考えている。
- ・資料2の83ページ、「事業のあり方を見直す」とあるが、もう少し内容を詳しく、65ページに記載の広域連携も含めて具体的に記載した方が良い。

会長

- ・資料2の65ページ、文章が長く読みにくい印象があるため工夫していただきたい。
- ・資料2の62ページ、施設、管路の老朽化割合の推移のグラフについて、今回の計画によりどのように改善されるのかについても記載いただきたい。

副会長

- ・管路の更新・耐震化によって震災に対する強靱性が高まるといったことなどを、料金改定による効果、メリットとして同時に示した方が良い。

事務局

- ・資料2の83ページ、料金改定についての記載に、メリットを合せて示せるよう検討したい。

委員

- ・安全で安定的な水道の継続が私にとっては一番重要で、それにコストがかかるなら致し方ないと考えている。
- ・料金改定について、住民が致し方ないと思える根拠を丁寧に説明すれば、納得していただけると思う。
- ・明確な根拠に基づく料金改定を行い、安全な水を確保していただきたい。
- ・企業でも商品を値上げをすれば売上げが落ちることがあるが、そういった値上げの影響も不安材料としてあるので、それも考慮したシミュレーションを作っていただきたい。

事務局

- ・安全・安心な水を安定的に持続的に送り続けることが、水道事業の責務だと感じている。
- ・今回、ダウンサイジングの検討を提案させていただいたが、コストの最適化についても検討を続ける中で、持続可能な水道事業を実現していきたい。

委員

- ・過疎地では、管路に代わる車載搭載型浄水器、走る浄水場という方法もあると知った。

会長

- ・過疎地で水を供給するのは本当にコストが高く大変であるため、いろいろな形の工夫があるのだと思う。

委員

- ・資料2の90ページ、先端技術の導入については、担い手不足も補うことができ、また、初期投資はかかるがコスト削減にも繋がるといった可能性がある。
- ・先端技術の導入によりどのような久御山町の水道事業を考えているのかなど、絵で示されることが多いが、文字であればもう少し具体的に記載し、将来に明るい材料となることが分かるように示した方が良い。

事務局

- ・先端技術の導入については、費用対効果等も含めて研究、検討段階である。
- ・記載方法については検討したい。

(3) 今後のスケジュールについて

－事務局説明－

委員

- ・水道事業の現実をしっかりと見ていきたいので、長期シミュレーションの結果についても確認したい。

事務局

- ・現在の物価高騰や京都府営水道の料金改定など不確定要素が多い中で、現状の条件で算出しているという点を理解いただいた上で、提示させていただけるよう検討する。

会長

- ・水道事業の厳しい状況を住民に伝えていくことは大事である。

4 閉会

※ 閉会の挨拶

事務局

- ・本日は、基本理念や具体的施策などを提案し、収支計画も再シミュレーションしたものを示したが、経営状況は厳しく、今後を注視していかなければならない。
- ・料金改定を説明する上で、指摘いただいたとおりメリットもしっかりと伝えていき、また、町として大きな料金改定とならないよう工夫、努力をしていることも説明し、住民、企業に理解していただけるよう努めたい。

【散会】

以 上